

ヒックアップ

大月さん、寺田智哉さん。同校は夏の県大会で優勝し、東海大会に進出。3人はチームの主力として攻守に活躍しました。セッターの久田さんは愛知選抜で主将に抜てきされ、「キ



ャプテンとして、セッターとして、仲間の最高のプレーを引き出し優勝をつかみたい」と意気込んでいます。

ウイングスパイカーの鈴木さんは「日本での一番輝くスパイカーになりたい。愛知魂をぶつけてきます」と力を込め、リベロの寺田さんは「これまで積み上げてきたことをぶつけて、最高のプレーをしたい」と目を輝かせています。

女子チームの林凜音さん(幸田中)は、ミドルブロッカーを務め、「相手のチャンスにならないように真下に落とせるブロックをしたい」ときっぱり。

レフトの荒木茜璃さん(同)は「ジャンプ力を生かしたスパイクで、1点でも取れるように頑張りたい」と闘志を燃やしています。

志を燃やしています。ミドルブロッカーの山本彩希さん(美川中)は「全力でプレーし、仲間と1分1秒でも長くコートに立てるように頑張ります」。

ライトの細井愛里さん(同)は「チームの強さを練り広げます」。



自作したロボットと炭山君

ロボコンで2年連続特別賞 本宿小3年の炭山君

11月24日に東京都で開かれた「小学生ロボコン2024」全国大会で、本宿小学校3年の炭山君が特別賞(SMC賞)を受賞しました。

同大会には18人が出場し、主催者がメンバー編成を決めた3人1組のチームで対決。一人一人が作ったロボットを操作し、床に散らばった鉛筆と消しゴムを箱に入れて運ぶ課題に挑みました。

炭山君は地区予選を勝ち抜き、本選へ「えびかにくん」と名付けたモーターで動くロボットを制作し、床に振り下ろされる板やベルトコンベアなどの機能を備え、粘着テープで文房具を拾い上げるアイデアを考えました。

昨年は2位で特別賞を受賞しており、「4位はちょっと悔しい」と炭山君。しかし、今年には父親の力を借りず、すべて自力でロボットを完成させたという、「改善点はあるけど、しっかり作れた」とこぼれる笑顔に自信があらわれた。

放射線を測定 興味津々 城北中で中電の出前授業



城北中学校で11月6、7日、中部電力理が「でんきの科学館」科実験出前授業が行われ、名古屋市の職員が

ら放射線について教わり、測定実験などを体験しました。写真。出前授業はクラスごとに行われ、生徒らは自然界に存在する放射線が医療や工業、農業などの幅広い分野で活用されていることを学習。身近な放射線量を専用機器で測定する実験に取り組みたり、鉛が放射性物質の線量を遮へいする能力が高いことを確かめたり、霧箱という装置を使って放射線の様子を観察し

たりしました。生徒の山田彩葉さんは「放射線のことには詳しく知らなかったけれど、実験で放射線の様子を確認できたことが興味深かった。(原発事故などのニュースで)少し怖いイメージもあったけど、良いものに使われていることも知って勉強になりました」と笑顔で話していました。

「陽名時太極拳岡崎鶴の会」の発足40周年記念行事が10月27日、岡崎ニューグランドホテルで開催されました。

会主の山口千代子さん

女子教育支援 国際ソロ

国際ソロプロチミスト岡崎がこのほど、社会福祉法人児童養護施設「岡崎平和学園」に正町と社会福祉法人米山寮の児童養護施設「ソティヴィラー」に、女子教育支援金として12万円ずつ寄付しました。

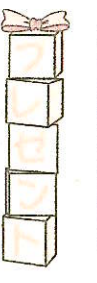
10、11月に岡崎ニューグランドホテルで行われた国際ソロプロチミスト岡崎の例会で贈呈式がありました。寄付は認証30周年を迎えた2016年から毎年行っており、両施設の代表者に目録を手渡した

特別展「地震と災難」

1月19日まで 安城歴博

1945年に発生した三河地震。来年1月で80年を迎えるにあたり、安城市歴史博物館で特別展「地震と災難」を開催。記録や資料約100点を展示し、11月19日まで開催。

月曜(1月13日)は開館、12月28日、1月4日。◎同館 ☎0566-77-6655



①「日近太鼓30周年記念公演」招待券5組

来て下さい 見て下さい

催し

◆東部地域文化祭 14日前10時後3、市東部地域福祉センター。和太鼓、キッズダンス、山中芸能振興会、カラオケの発表、折染め体験(参加費200円・予約優先)。

◆第40回岡崎第九演奏会 21日後3・30、市民会館。出演は岡崎「第一九」をうたう会、愛知室